



令和3年度 学習発表会

10月を締めくくる30日（土）に、茗台中学校では待ちに待った学習発表会を行うことができました。昨年は、本校で行うことができたのは、生徒会の発表のみで、合唱コンクールはシビックセンターを借りて行いました。合唱コンクールをシビックセンターでできたことは、生徒にとって良い経験ではありましたが、学習発表会は、生徒の合唱だけが目的ではありません。学習発表会を行うにあたり、様々な係や委員会が、その成功を思いながらいろいろと考え、準備を進めることに、大きな意味があります。



学年の舞台発表に向けた準備では、シナリオを担当する人が一人一人の台詞を考えながら演技をする人たちに伝え、司会をする人は、全体の流れを考えた上で、時間を気にしながら進める準備をしてきました。また、実際に発表する人や舞台の大道具、小道具、衣装担当の人たちは、遅くまで残って準備をし、練習を重ねてきました。更に、放送や照明を担当する人は、全体の流れを理解し、何処で何を放送しどの部分に照明を当てるのかなど、事細かく打合せをしていました。茗台生は、どの係もどの委員会も、学習発表会を成功させるために一生懸命に取り組んできました。そんな裏方仕事を体験することができるのも、本校で学習発表会ができたからではないでしょうか。

当然合唱コンクールに向けた準備においても、どの学年もどのクラスもとても熱心に練習を重ねていました。3週間前からの練習は、途中疲れが出るのではと心配もしましたが、茗台生は本当に心から歌が好きで、全クラスで優勝を目指して取り組んでいる姿をよく目にしました。しかし、合唱コンクール当日までは、どのクラスも様々なドラマがあったに違いありません。早いうちから頑張ろうと張り切っていた人、なかなかエンジンがかからずに、歌に集中できなかった人。お互いに意見をぶつけ合いながら、クラスが一つにまとまっていく過程は、これからの人生において大切なことなのです。ぜひ、よい経験としてクラスをまとめて欲しいと思います。



伴奏者の人たち、指揮者の人たち、本当に練習が大変であったと同時に、御家庭の御協力も多かったのではないのでしょうか。合唱をする人たち以上に緊張し、

また疲れたのではないのでしょうか。本当にご苦労様でした。一人一人の思いがこもった素晴らしい合唱コンクールとなりました。

各学年の舞台発表は、日頃の学習成果を発表するものです。これまでに学んできたことをそれぞれの学年ごとにアレンジしながら、それぞれの思いや主張を伝える発表だったと思います。宿泊行事の準備をしていたにもかかわらず、コロナ感染症拡大防止のため中止となった学年は、その思いを込めた発表をしていました。学習発表会でそれぞれの学年の主張を発表



することにより、自分たちの学びを深めることができたと思っています。



生徒会の発表は、自分たちの活動の取り組みを面白おかしく動画にし、全員に伝えるものでした。日頃から茗台中学校のために、一生懸命に活動している様子が、全校生徒に伝わったのではないのでしょうか。とてもよかったです。

吹奏楽部の発表は、とても感動的でした。東京都中学校吹奏楽コンクール金賞の腕前は確かなもので、部員全員がひとつになって演奏する姿は、茗台生全員が感動させられたのではないのでしょうか。顧問の先生はもちろん、生徒自身が指揮を振る姿もとても素晴らしかったです。毎年、この学習発表会をもって3年生が引退となります。吹奏楽部を引っ張ってきてくれた3年生に感謝です。



普段とは違う、学習発表会



茗台中学校で学習発表会ができたとはいえ、普段とは違う学習発表会でした。アリーナには発表する学年の生徒、保護者のみしか入ることができず、他学年の生徒はオンラインを通して、教室でその様子を見ることとなりました。迫力の面では他学年の様子を直接見ることができず、残念で仕方ありません。また、マスクについても様々な思いがあり、苦労したところもありました。

保護者の皆さまには、御協力をいただきありがとうございました。少しでも本来の茗台中学校の学習発表会をとり組んでまいりました。生徒の当日の姿も素晴らしかったのですが、これまでの準備では、誰もが自分のやるべきことをしっかりと、そして本当に一生懸命に取り組んできました。その時の真剣な、また楽しそうな生徒たちの姿こそが、茗台生のワクワクする姿だったのではないかと感じています。ご自宅で生徒たちの頑張りをぜひ褒めていただければと思います。

御協力、本当にありがとうございました。